

高齢者に関する調査結果の概要

1 調査の目的と調査方法

1-1 調査の目的

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

高齢者の暮らし方や健康状態等を把握し、介護予防や地域の支え合いの推進に役立てるためのデータを得るとともに、介護保険事業計画策定のための基礎資料とする。

(在宅介護実態調査)

「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するためデータを得るとともに、介護保険事業計画策定のための基礎資料とする。

1-2 調査の方法

調査対象や調査数、調査期間等、調査方法は下記の通りです。

項目	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象者	佐賀中部広域連合を構成する、佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町 4 市 1 町に住む、65 歳以上高齢者 ※要介護認定者を除く	佐賀中部広域連合を構成する、佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町 4 市 1 町に住む、在宅で生活する要支援・要介護認定を受けている方
調査数	15,000 名	950 名
調査方法	郵送による配布・回収	認定申請時に介護事業所による聞き取り調査
調査期間 ※又は調査基準日	令和元年 10 月 1 日(火)～ 令和元年 11 月 29 日(金)	令和元年 7 月 19 日(金)～ 令和元年 11 月 30 日(土)
調査票回収数	8,468 件	646 件
回収率	56.5%	68.0%

※本資料における「N」「SA」「MA」「数量」は、それぞれ

「N」 = サンプル数のこと

「SA」 = 単回答のこと(Single Answer の略)

「MA」 = 複数回答のこと(Multiple Answer の略)

「数量」 = 数量回答のこと

を示します。

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

2-1 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

回答者の約5割が75歳以上、女性が約6割を占める。家族構成では、65歳以上のみの世帯が半数以上となっている。

回答者の年齢は、65歳以上75歳未満が53.3%、75歳以上が46.8%と約半数を占めている。

性別は女性が約5割台半ば、男性が4割台前半。

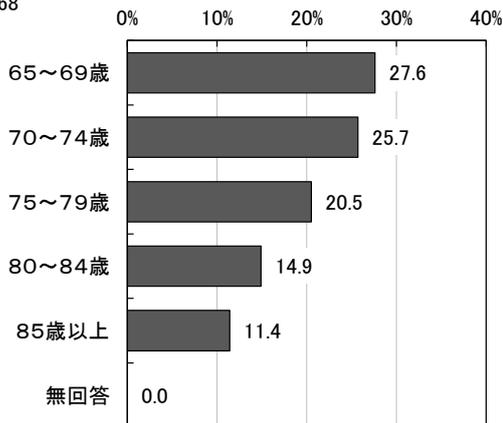
介護状態区分は、一般高齢者が93.0%、要支援1が3.6%、要支援2が3.4%。

地域構成は、佐賀市が65.8%、多久市が4.5%、小城市が14.2%、神崎市が10.8%、吉野ヶ里町が4.6%。

家族構成は、1人暮らしが14.9%、夫婦とも65歳以上の2人暮らしが37.3%で、65歳以上のみの世帯で暮らす人が全体の半数以上を占めている。

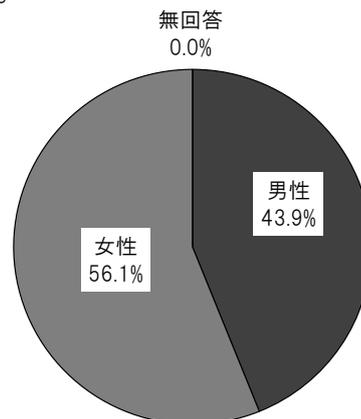
【年齢】

(数量) N=8,468



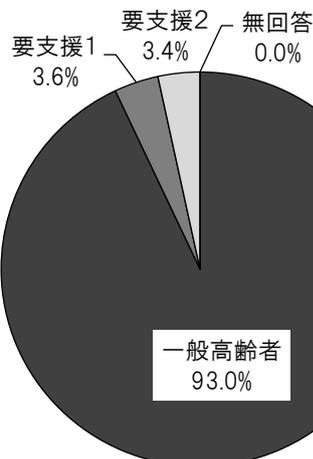
【性別】

(SA) N=8,468

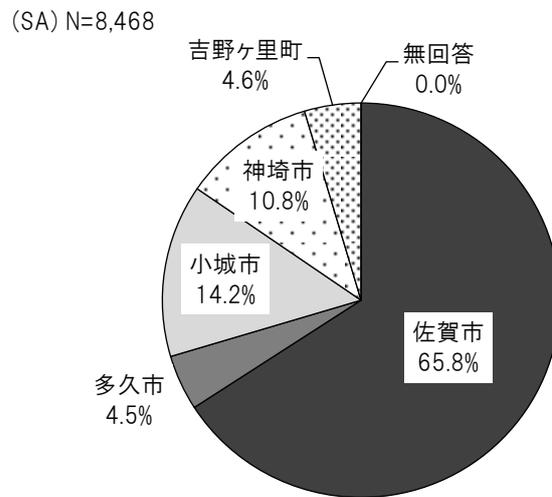


【介護状態区分】

(SA) N=8,468

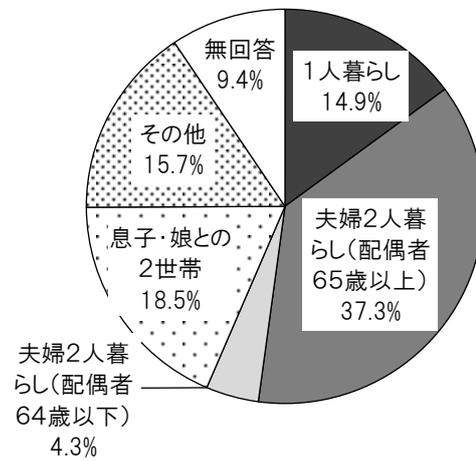


【地域】



【家族構成】 [問 1 (1)]

(SA) N=8,468



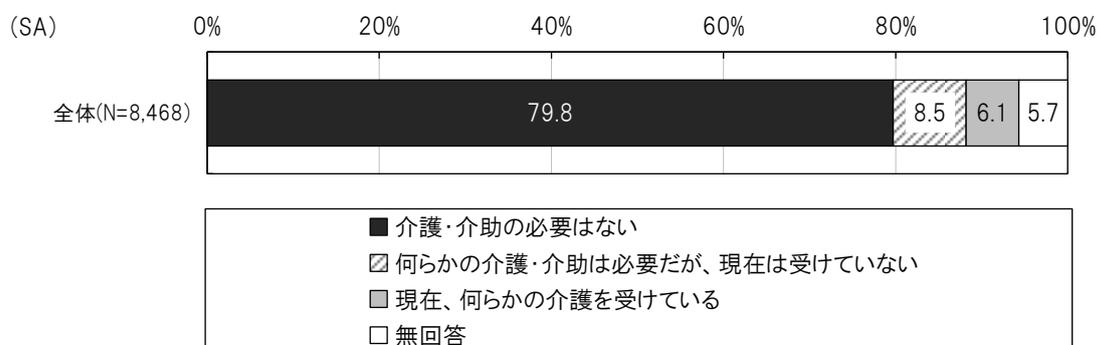
(2) 介護・介助者の状況

何らかの介護・介助が必要な人は約1割。主な介護・介助者は、1人暮らしは介護サービスのヘルパー、夫婦2人暮らしは配偶者(夫・妻)、息子・娘との2世帯は娘の割合が高い。

介護・介助の状況は、「介護・介助の必要はない」が79.8%と過半数を占めるが、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と、「現在、何らかの介護を受けている」をあわせた、『何らかの介護・介助が必要』な人が14.6%と約1割となっている。

主な介護・介助者は、全体では「配偶者(夫・妻)」が30.5%と最も高い。1人暮らしでは「介護サービスのヘルパー」が44.4%。夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上・配偶者64歳以下)では「配偶者(夫・妻)」が、それぞれ68.1%、72.7%。息子・娘との2世帯では「娘」が36.2%と最も高い。

【介護・介助の状況】[問1(2)]



【家族構成別・主な介護・介助者】[問1(2)②]

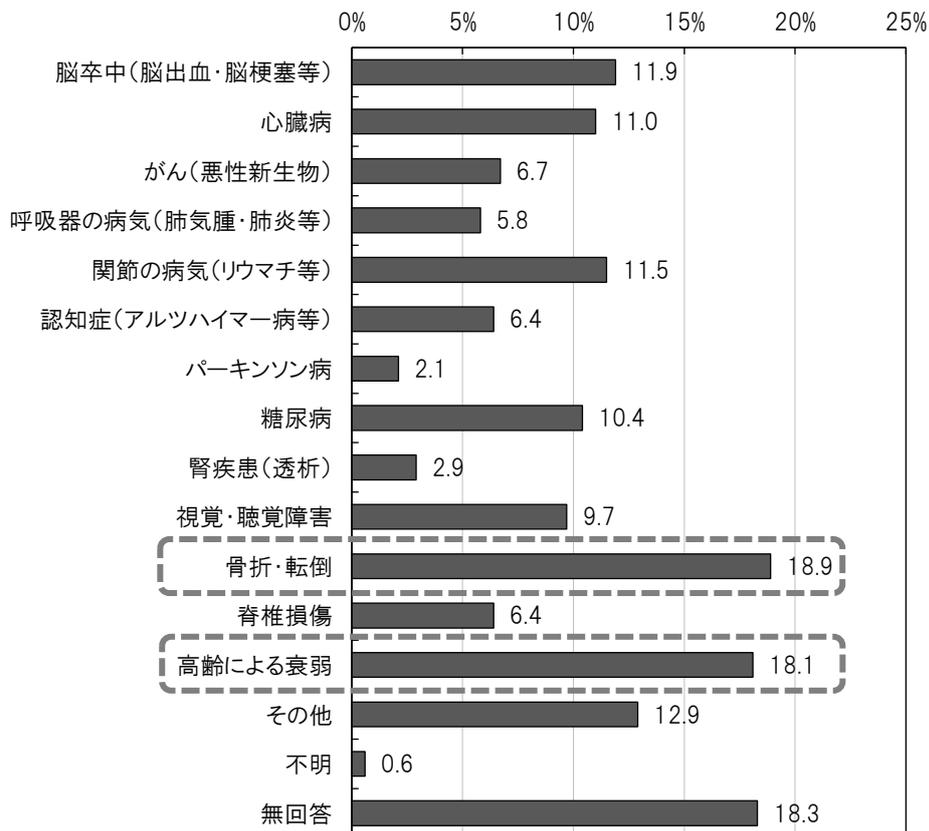
	全体	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他
	N=515	N=117	N=144	N=11	N=127	N=82
配偶者(夫・妻)	30.5	3.4	68.1	72.7	19.7	19.5
息子	20.4	14.5	11.1	18.2	32.3	19.5
娘	27.8	33.3	18.8	9.1	36.2	26.8
子の配偶者	13.8	10.3	2.8	9.1	28.3	15.9
孫	5.0	6.0	-	-	7.1	9.8
兄弟・姉妹	3.9	6.0	2.1	-	-	7.3
介護サービスのヘルパー	24.3	44.4	23.6	18.2	13.4	18.3
その他	9.9	11.1	4.9	-	4.7	22.0
無回答	8.5	10.3	7.6	18.2	8.7	6.1

介護・介助が必要になった主な原因としては、骨折・転倒、高齢による衰弱が約2割。

介護・介助が必要になった主な原因としては、「骨折・転倒」が18.9%、「高齢による衰弱」が18.1%と約2割。また、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」、「関節の病気（リウマチ等）」、「糖尿病」、「視覚・聴覚障害」では約1割回答がみられる。

【介護・介助が必要になった主な原因】 [問1(2)①]

(MA) N=1,231



(3) 外出について

約2割が外出を控えており、理由として「足腰などの痛み」が最も高い。移動手段は男性で80～84歳、女性で75～79歳までは「自動車(自分で運転)」が最も高いが、それ以降では「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が高い。

全体の約2割が、外出を控えていると回答している。その理由として、「足腰などの痛み」が57.1%で最も高い。また、交通手段や「トイレの心配(失禁など)」を理由とする人も約2割となっている。

外出する際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」が全体で64.2%と最も高い。男性では80～84歳、女性では75～79歳までは「自動車(自分で運転)」が最も高くなっているが、それ以降では「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が高い。

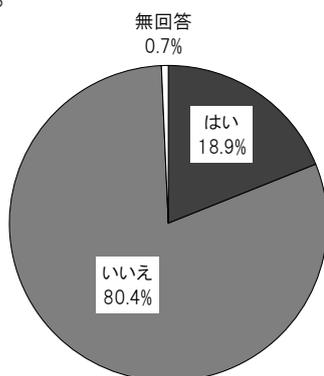
運転ができなくなったり、免許返納をきっかけに外出を控える高齢者が増加することが考えられ、移動手段の確保が必要である。

【外出を控えているか】[問2(8)]

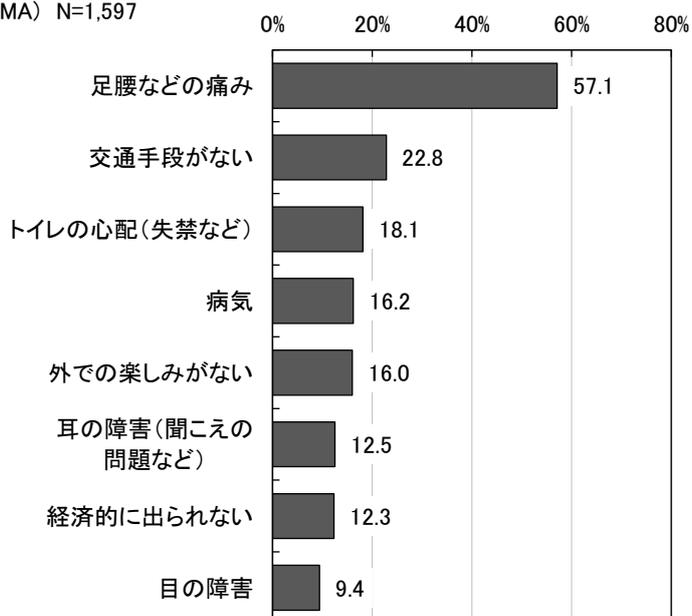
【外出を控えている人の、控えている理由(上位抜粋)】

[問2(8)①]

(SA) N=8,468



(MA) N=1,597



【外出する際の移動手段(性別・年齢別集計)】[問2(9)]

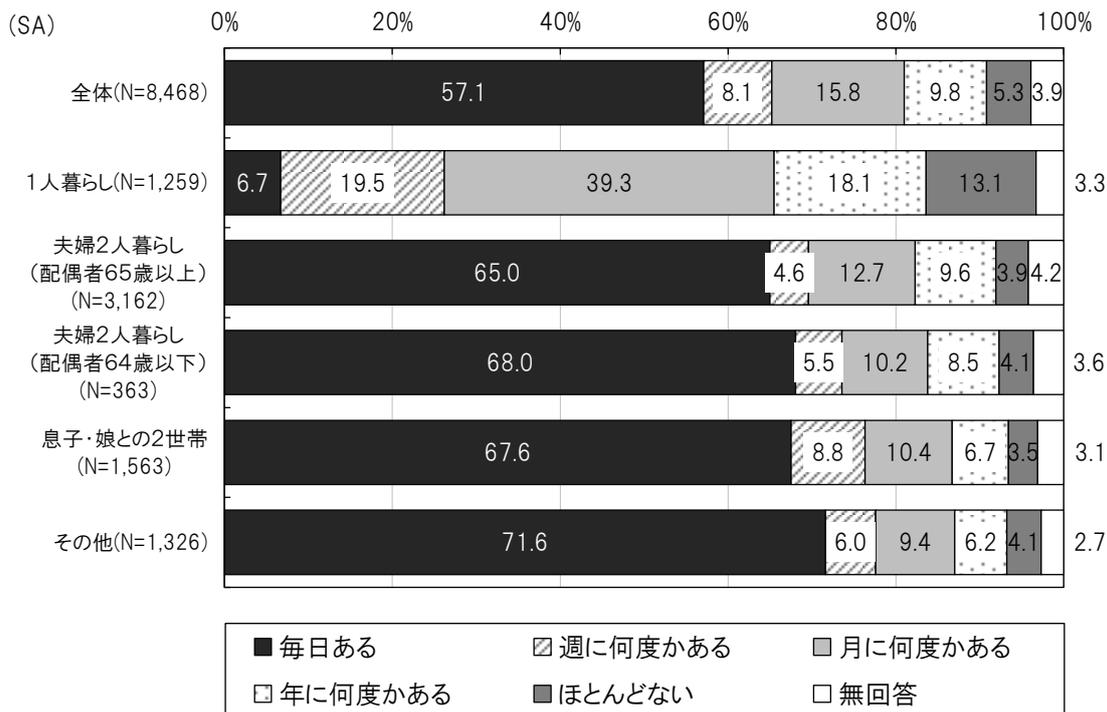
	全体	【男性 計】	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	N=8,468	N=3,715	N=1,090	N=990	N=752	N=530	N=353
徒歩	36.1	36.3	37.1	38.1	36.2	33.2	34.0
自転車	24.8	27.8	26.4	26.8	32.2	26.0	27.8
バイク	3.4	4.2	5.5	4.0	4.8	2.8	1.7
自動車(自分で運転)	64.2	78.6	88.5	87.5	79.3	67.9	37.7
自動車(人に乗せてもらう)	24.6	13.2	6.8	9.7	12.4	17.0	39.4
電車	4.4	4.2	5.4	5.3	3.5	2.5	2.0
路線バス	14.4	9.3	6.4	8.4	9.6	12.3	16.1
病院や施設のバス	1.9	0.8	0.4	0.3	0.5	0.9	3.4
車いす	0.3	0.2	-	0.1	0.3	0.4	0.3
電動車いす(カート)	0.2	0.3	0.2	-	0.1	0.2	2.0
歩行器・シルバーカー	1.7	0.5	0.1	0.1	0.7	0.6	2.8
タクシー	10.6	7.0	3.5	3.6	6.5	10.2	23.8
その他	1.1	0.6	0.9	0.1	0.9	0.6	0.8
無回答	2.1	2.8	2.4	3.3	3.1	2.5	2.8
	【女性 計】	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	
	N=4,753	N=1,248	N=1,184	N=983	N=728	N=610	
徒歩	36.0	34.8	35.7	38.5	36.5	34.1	
自転車	22.6	23.2	26.3	27.6	21.0	7.9	
バイク	2.8	1.8	3.3	4.6	3.6	0.5	
自動車(自分で運転)	52.9	77.0	68.9	48.9	28.8	7.7	
自動車(人に乗せてもらう)	33.5	23.3	25.3	33.7	42.6	59.3	
電車	4.5	6.5	4.6	4.1	3.6	2.1	
路線バス	18.3	12.6	14.2	22.2	27.1	21.3	
病院や施設のバス	2.8	0.4	0.5	1.7	4.5	11.6	
車いす	0.4	0.3	0.3	-	0.3	1.6	
電動車いす(カート)	0.2	0.1	0.1	-	0.1	1.1	
歩行器・シルバーカー	2.6	0.3	0.1	1.3	4.4	11.8	
タクシー	13.5	5.0	6.8	14.4	22.1	31.8	
その他	1.4	0.6	0.3	1.4	2.1	3.9	
無回答	1.6	1.1	1.2	2.2	2.1	1.6	

(4) 友人とのつながりや地域活動への参加について

誰かとの食事の機会は1人暮らしでは他の家族構成と比較して特に低い。

誰かとの食事の機会は、1人暮らしで「毎日あるが」6.7%と他の家族構成と比較して特に低くなっている。また、「年に何度かある」と「ほとんどない」をあわせた割合が約3割と他の家族構成と比較して高い。

【家族構成別・誰かとの食事の機会】[問3(8)]

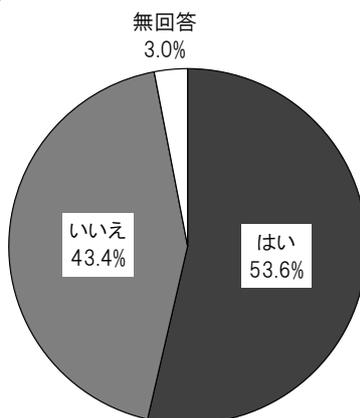


友人の家への訪問状況は、約5割の人が訪問あり。

友人の家への訪問状況は、「はい」が53.6%、「いいえ」が43.4%となっており、約5割の人が友人の家へ訪ねて行っている。

【友人の家への訪問状況】[問4(13)]

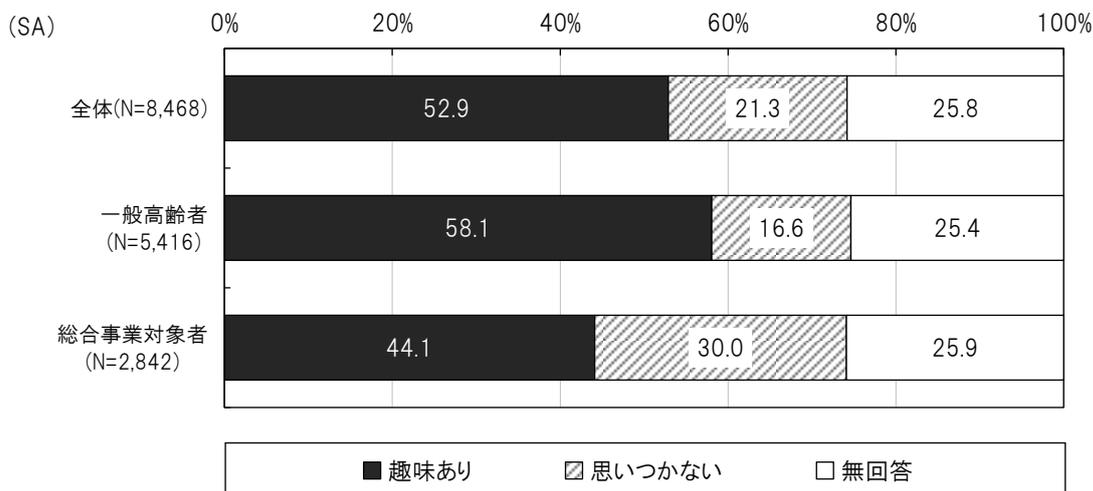
(SA) N=8,468



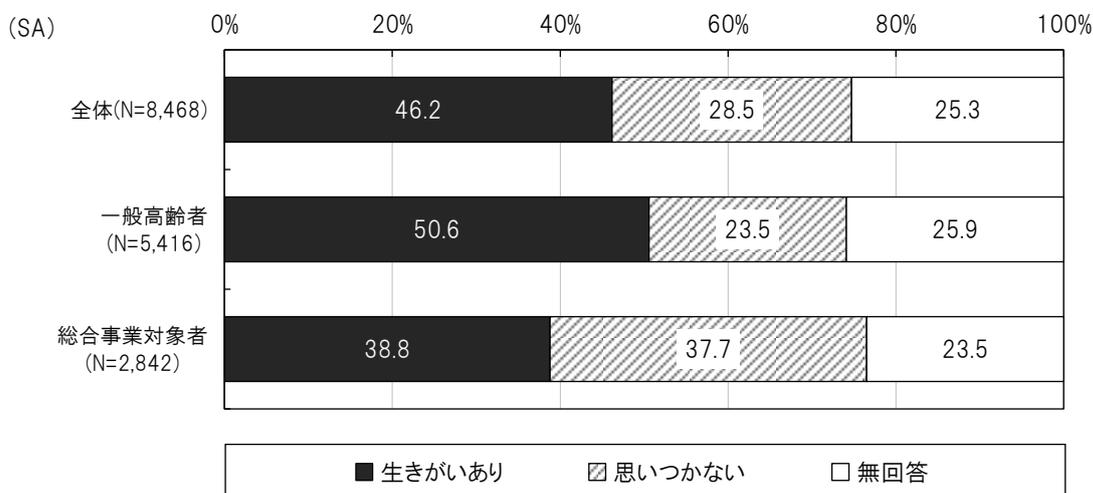
総合事業対象者では、一般高齢者と比較して趣味や生きがいが見つからない人の割合が高い。

趣味の有無は、「見つからない」が一般高齢者で 16.6%、総合事業対象者で 30.0%となっている。
 生きがいの有無は、「見つからない」が一般高齢者で 23.5%、総合事業対象者で 37.7%となっている。
 どちらの質問についても総合事業対象者の方で「見つからない」の割合が高い。

【総合事業対象者該当状況別・趣味の有無】 [問4 (17)]



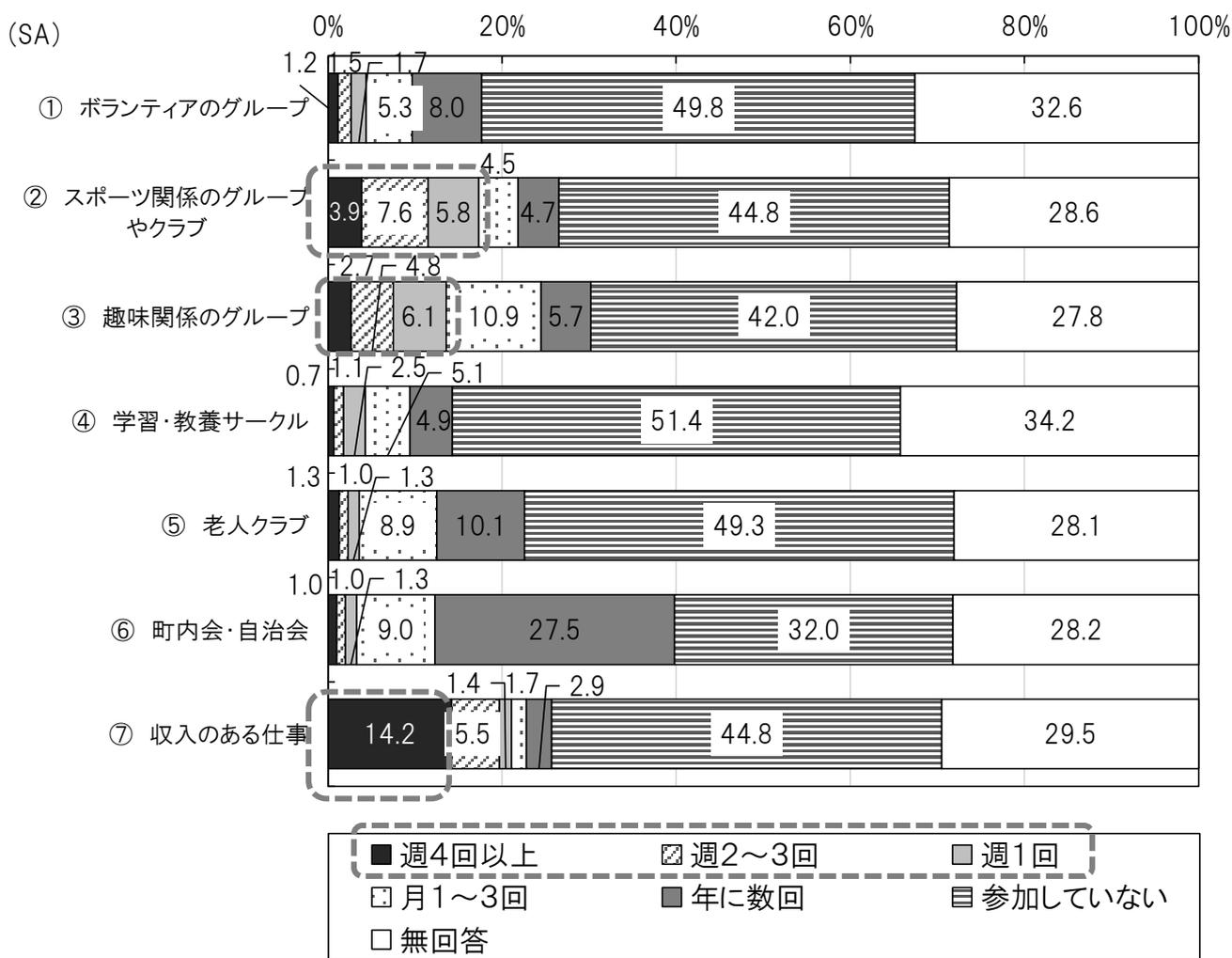
【総合事業対象者該当状況別・生きがいの有無】 [問4 (18)]



収入のある仕事、スポーツ関係のグループやクラブで約2割、趣味関係のグループで約1割の人が週1回参加している。

会・グループ等への参加状況は、週1回以上参加している人が⑦収入のある仕事で 21.1%、②スポーツ関係のグループやクラブで 17.3%、③趣味関係のグループで 13.6%と他の項目と比較して高くなっている。一方、会・グループ等に参加していないでは、全体的に3～5割みられ、学習・教養サークルで 51.4%と他の項目と比較して高くなっている。

【会・グループ等への参加状況】 [問5 (1)]



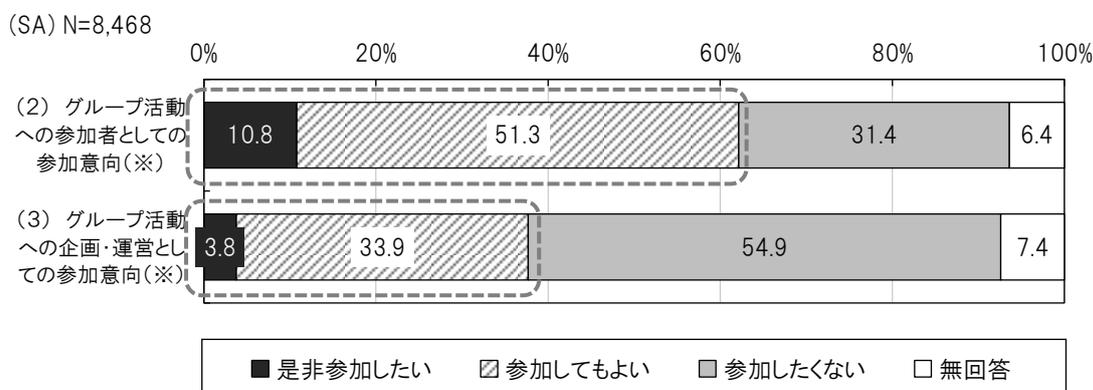
健康づくり等の地域活動への参加意向が 62.1%。企画・運営(お世話役)でも 37.7%が参加意向があり、担い手として期待される。

健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向では、参加者としては『参加したい』(「是非参加したい」「参加してもよい」の合計)が 62.1%となっている。また、企画・運営(お世話役)では 37.7%が『参加したい』となっており、活動のリーダーや担い手として期待される。

総合事業対象者該当状況別では、参加者としての参加意向、企画・運営としての参加意向ともに一般高齢者と比較して、総合事業対象者で『参加したい』の割合が低くなっている。

意欲の高い人を担い手として掘り起こす仕組みづくりや、前項においても、無趣味な人や生きがいが思いつかない人の割合が高いように、活動意欲の低下している対象者へのアプローチ方法について検討が必要である。

【健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向】 [問5(2)、問5(3)]

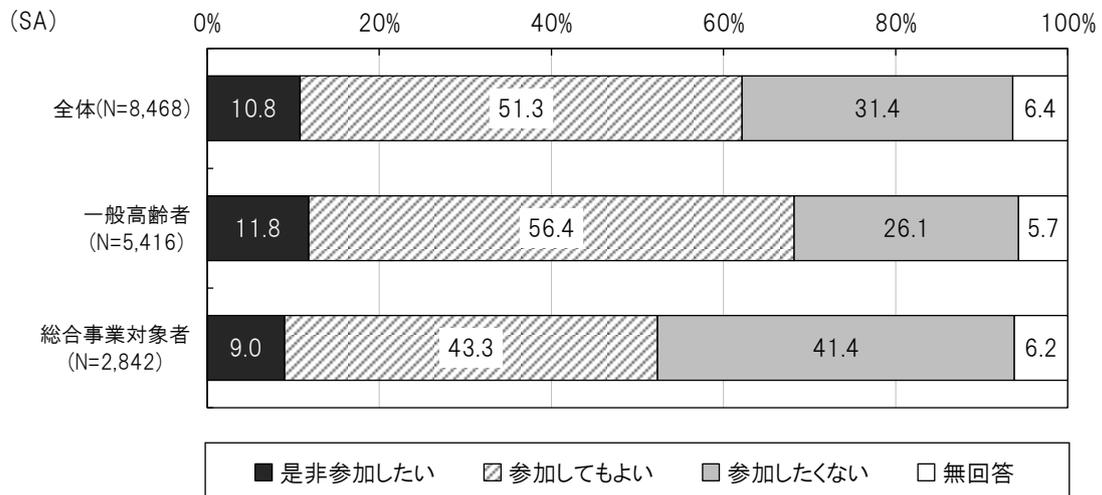


※(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

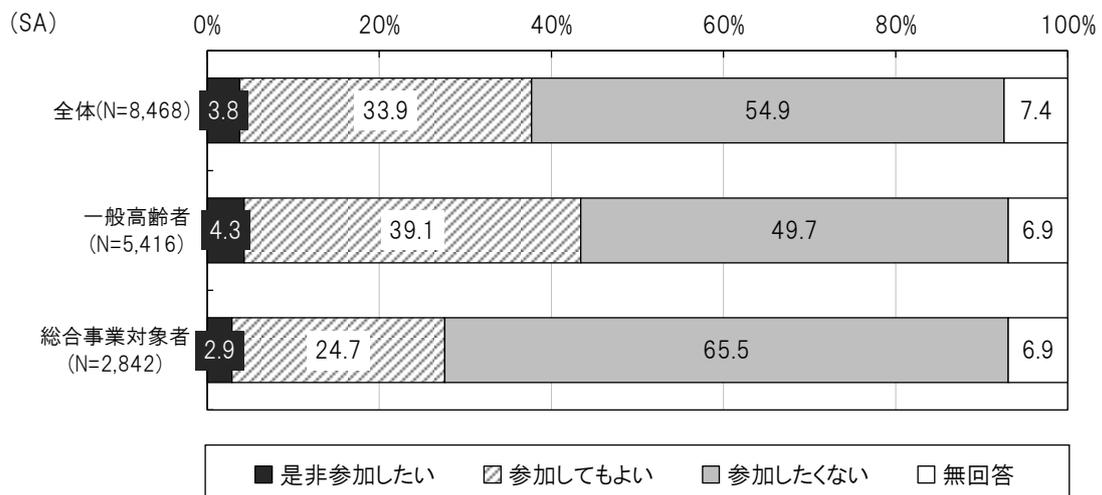
※(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

【総合事業対象者該当状況別・健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向】 [問5(2)、問5(3)]

※(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



※(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか



(5) 相談先について

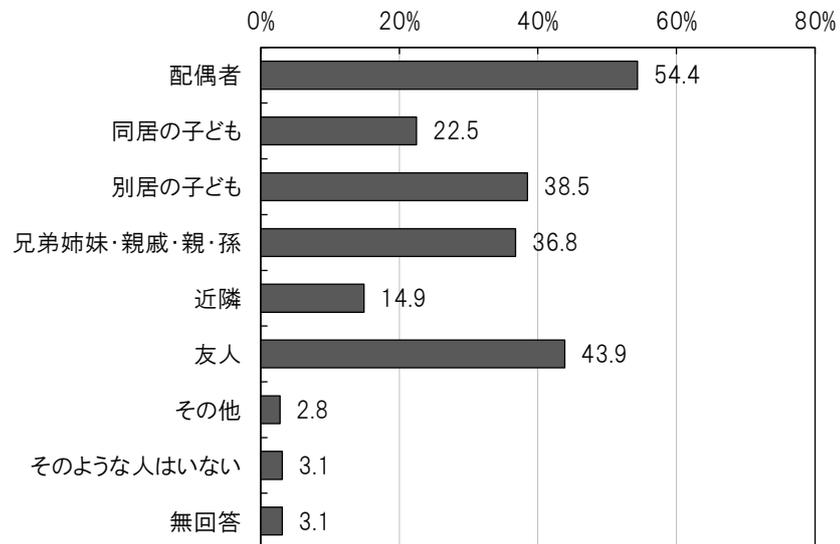
心配事や愚痴を聞いてくれる人は配偶者や友人が多い。家族や友人・知人以外の相談先は医療機関が多い。一方で、「そのような人はいない」が約3割を占めている。

心配事や愚痴を聞いてくれる人は「配偶者」が54.4%と最も高く、次いで「友人」が43.9%となっている。

家族や友人・知人以外の相談先は、全体では「医師・歯科医師・看護師」が32.6%と最も高い。一方で、「そのような人はいない」が28.6%となっている。家族構成別にみると、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「そのような人がいない」が、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、息子・娘との2世帯では医師・歯科医師・看護師の割合が最も高くなっている。また、1人暮らしでは社会福祉協議会・民生委員が他の項目と比較して割合が高くなっている。

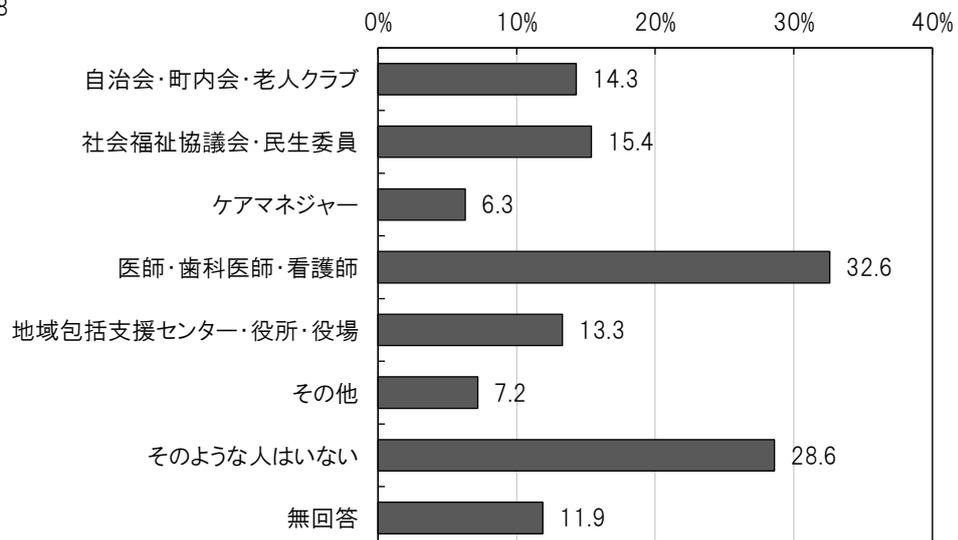
【心配事や愚痴を聞いてくれる人】[問6(1)]

(MA) N=8,468



【家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手】[問6(5)]

(MA) N=8,468



【家族構成別・家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手】 [問6 (5)]

	全 体	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他
	N=8,468	N=1,259	N=3,162	N=363	N=1,563	N=1,326
自治会・町内会・老人クラブ	14.3	12.8	15.1	15.2	15.2	12.1
社会福祉協議会・民生委員	15.4	23.7	15.1	10.5	12.9	12.4
ケアマネジャー	6.3	7.8	5.8	2.5	6.0	7.4
医師・歯科医師・看護師	32.6	29.4	34.5	28.4	34.7	31.8
地域包括支援センター・役所・役場	13.3	12.3	14.1	14.6	13.7	13.3
その他	7.2	5.6	6.9	10.5	5.6	11.4
そのような人はいない	28.6	30.6	27.7	35.0	28.1	30.1
無回答	11.9	10.3	11.8	8.8	11.5	10.3

(7) 住まいについて

自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合でも自宅で暮らしたい人が約5割。

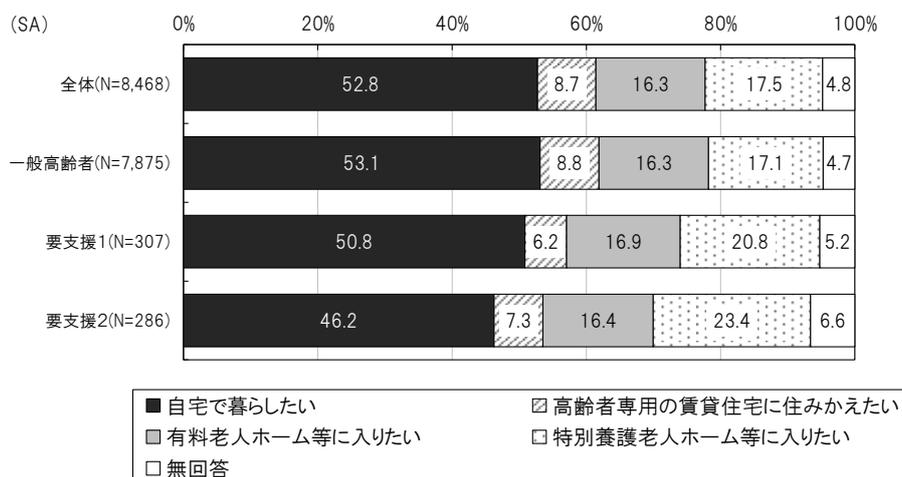
自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合の住まいの希望では、「自宅で暮らしたい」が52.8%と最も高い。次いで「特別養護老人ホーム等に入りたい」が17.5%、「有料老人ホーム等に入りたい」が16.3%となっている。

介護状態区分別では、一般高齢者、要支援1・2いずれにおいても「自宅で暮らしたい」が約5割。

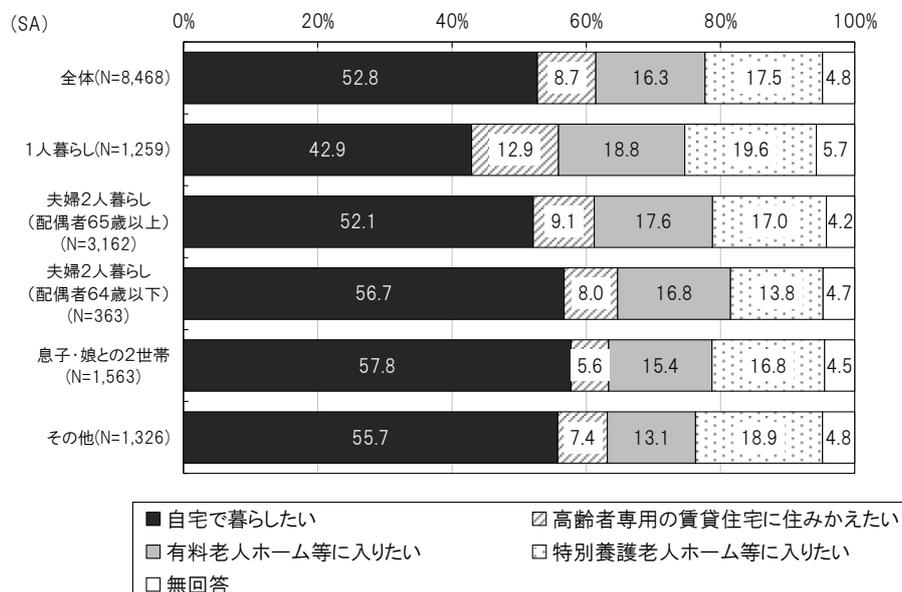
家族構成別では、1人暮らしでは他の家族構成と比較して「自宅で暮らしたい」の割合が低い。また、「高齢者用の賃貸住宅に住みかえたい」への回答が1割台となっている。

今後、核家族化の進行に伴い、高齢単身世帯や高齢者のみの世帯が増加することが予測される。サービス付き高齢者向け住宅をはじめ、住まいの在り方は多様化しており、高齢者自身が心身の機能を維持し、本人の意向の下、在宅生活の継続や住み替え等の暮らしが叶うよう、居住の安定確保を図る必要がある。

【介護状態区分別・自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合の住まいの希望】 [問 10]



【家族構成別・自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合の住まいの希望】 [問 10]



3 在宅介護実態調査結果

(1) 回答者の属性

回答者の約9割が 75 歳以上、女性が約7割を占める。介護度は要支援が約5割、要介護が約4割半ば。世帯類型では、単身世帯が2割半ば、夫婦のみ世帯が約2割となっている。

回答者の年齢は、75 歳以上が 86.5%と過半数を占めている。

性別は女性が約7割、男性が2割前半。

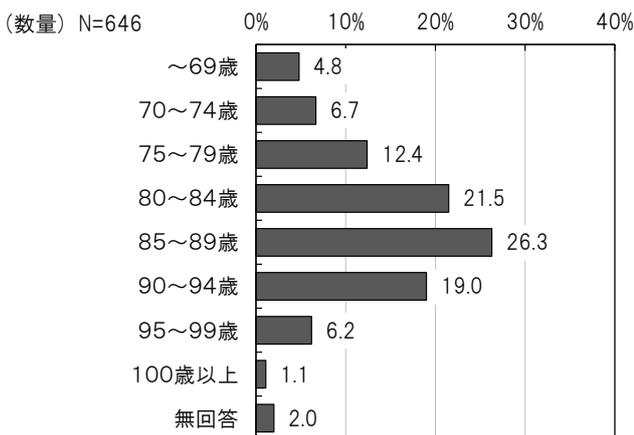
地域構成は、佐賀市が 66.4%、小城市が 14.4%、神崎市が 9.8%、多久市が 5.1%、吉野ヶ里町が 2.3%。

介護度は、要支援が 52.1%、要介護が 45.8%。

聞き取り相手は、調査対象者本人が 52.8%、主な介護者となっている家族・親戚が 44.3%。

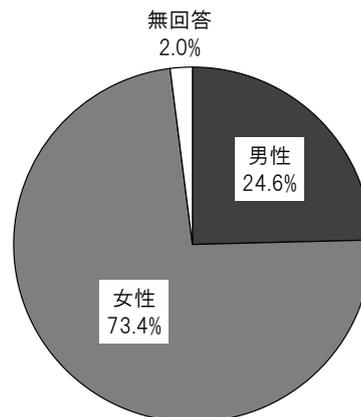
世帯類型は、その他が 56.7%、単身世帯が 24.9%、夫婦のみ世帯が 18.0%。

【年齢】



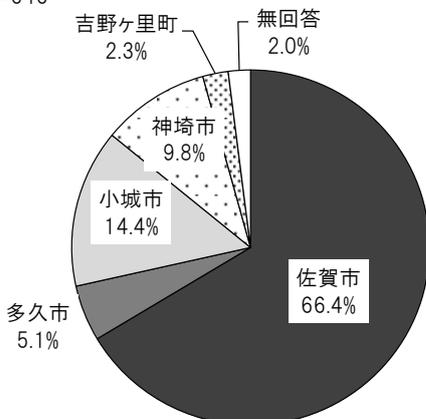
【性別】

(SA) N=646



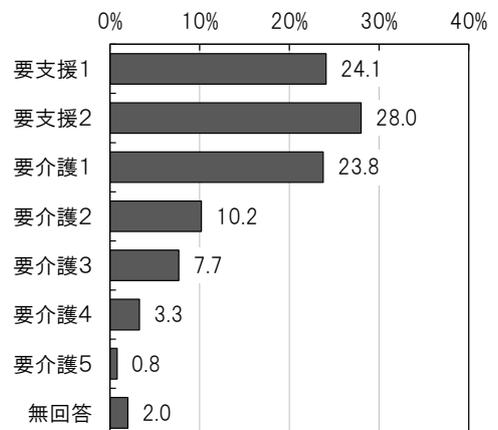
【地域】

(SA) N=646

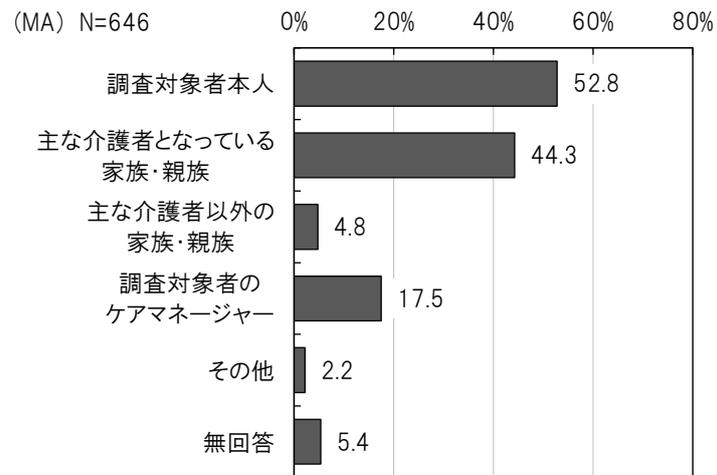


【介護度】

(SA) N=646

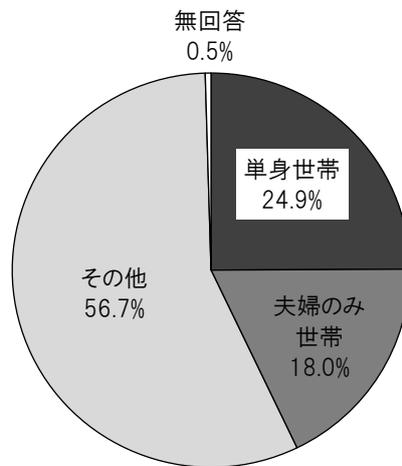


【聞き取り相手】



【世帯類型】

(SA) N=646



(2) 在宅介護の状況

現在抱えている傷病では、全体では認知症、筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)、変形性関節疾患の割合が高い。

現在抱えている傷病では、全体では「認知症」が30.8%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が26.8%、「変形性関節疾患」が25.5%となっている。

年齢別では、74歳以下では「脳血管疾患(脳卒中)」の割合が高い。75歳以上では「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」「変形性関節疾患」「認知症」などの割合が高くなっている。

【年齢別・現在抱えている傷病】[A問11]

	全 体	～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上
	N=646	N=31	N=43	N=80	N=139	N=170	N=123	N=40	N=7
脳血管疾患(脳卒中)	16.3	54.8	34.9	22.5	13.7	10.6	11.4	5.0	14.3
心疾患(心臓病)	21.1	16.1	4.7	13.8	19.4	22.4	26.0	30.0	42.9
悪性新生物(がん)	6.8	6.5	7.0	8.8	7.9	8.8	4.1	2.5	-
呼吸器疾患	6.7	3.2	2.3	8.8	7.9	7.6	6.5	2.5	-
腎疾患(透析)	2.2	-	2.3	-	3.6	2.9	0.8	2.5	14.3
筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	26.8	16.1	11.6	25.0	25.9	30.6	29.3	30.0	14.3
膠原病(関節リウマチ含む)	2.0	6.5	4.7	5.0	-	0.6	2.4	-	-
変形性関節疾患	25.5	9.7	7.0	17.5	22.3	31.2	34.1	35.0	28.6
認知症	30.8	16.1	14.0	17.5	30.2	38.2	39.0	35.0	14.3
パーキンソン病	2.9	3.2	2.3	6.3	3.6	2.4	0.8	-	-
難病(パーキンソン病を除く)	1.4	6.5	4.7	1.3	2.2	0.6	-	-	-
糖尿病	13.3	22.6	23.3	18.8	16.5	12.4	5.7	2.5	14.3
眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	19.5	12.9	7.0	16.3	22.3	19.4	21.1	32.5	14.3
その他	23.2	22.6	32.6	23.8	23.7	22.9	22.8	15.0	-
なし	1.9	-	7.0	1.3	-	0.6	3.3	5.0	14.3
わからない	0.3	-	-	-	-	0.6	0.8	-	-
無回答	3.7	3.2	2.3	2.5	2.9	2.4	5.7	7.5	28.6

主な介護者が行っている介護は、その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)、外出の付き添い、送迎等が約7割。

主な介護者が行っている介護は、全体では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が74.6%、「外出の付き添い、送迎等」が70.0%と7割以上。

主な介護者の年齢別では、どの年齢においても「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高い。主な介護者が80歳以上となっても同様の傾向にあるが、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は50代~70代が6割以上であるのに対し、80歳以上では、4割台半ばと低い。

【主な介護者の年齢別・主な介護者が行っている介護】 [A問6]

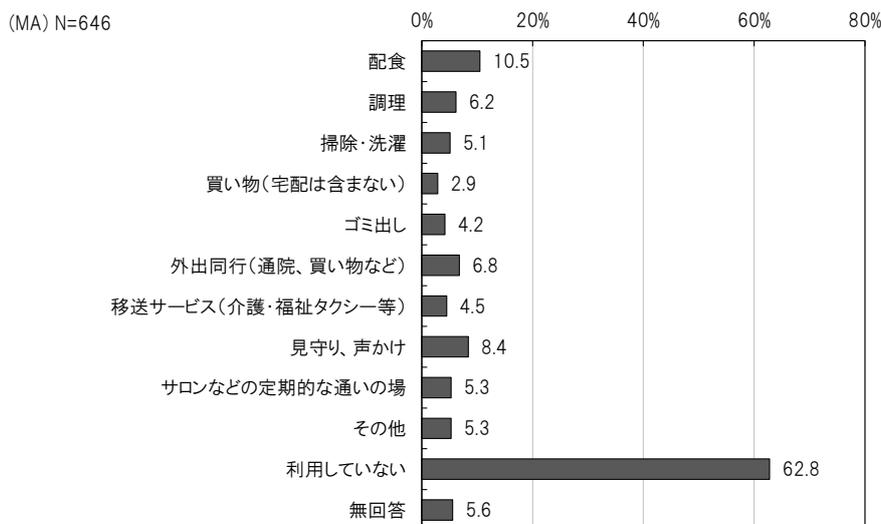
	全体 N=484	20代 N=2	30代 N=13	40代 N=42	50代 N=133	60代 N=161	70代 N=71	80歳以上 N=50	わからない N=1
日中の排泄	10.5	-	7.7	-	9.8	9.3	18.3	16.0	-
夜間の排泄	8.3	-	15.4	4.8	6.8	6.8	12.7	12.0	-
食事の介助(食べる時)	6.8	-	7.7	7.1	6.8	6.2	5.6	10.0	-
入浴・洗身	14.0	-	7.7	19.0	12.8	13.0	15.5	20.0	-
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	14.7	-	7.7	11.9	17.3	11.8	21.1	12.0	-
衣服の着脱	19.0	-	7.7	11.9	14.3	17.4	33.8	26.0	-
屋内の移乗・移動	13.0	-	7.7	9.5	12.0	13.7	19.7	10.0	-
外出の付き添い、送迎等	70.0	100.0	76.9	73.8	77.4	72.0	63.4	58.0	-
服薬	32.0	-	15.4	28.6	38.3	26.1	42.3	30.0	100.0
認知症状への対応	20.2	-	7.7	16.7	21.8	19.9	26.8	16.0	-
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	4.1	-	-	2.4	3.0	4.3	5.6	6.0	100.0
食事の準備(調理等)	60.7	50.0	53.8	54.8	60.2	60.9	66.2	64.0	100.0
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	74.6	100.0	61.5	73.8	76.7	77.6	76.1	70.0	-
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	61.4	50.0	46.2	57.1	64.7	64.6	67.6	46.0	-
その他	3.5	-	7.7	4.8	5.3	1.9	5.6	-	-
わからない	0.2	-	-	-	0.8	-	-	-	-
無回答	1.4	-	-	-	-	0.6	-	-	-

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況では、利用していないが約6割だが、利用している支援・サービスの中では配食、見守り、声かけの割合が高い。

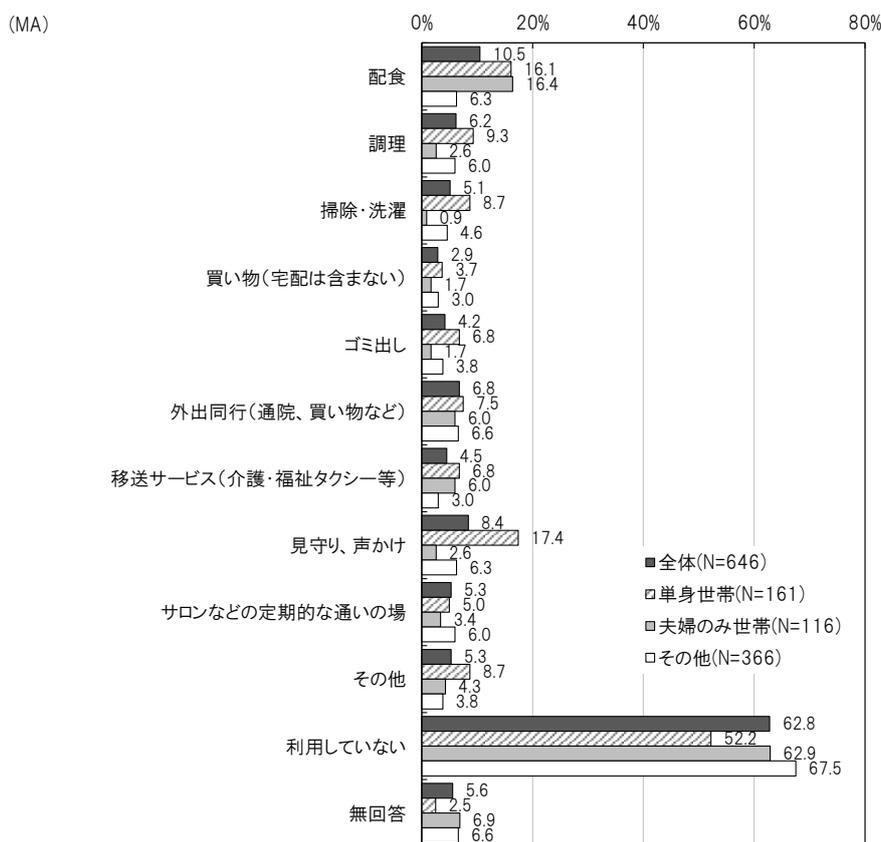
介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況では、「利用していない」が62.8%と利用していない割合が高い。一方、利用している人では「配食」が10.5%、「見守り、声かけ」が8.4%。

世帯類型別では、「利用していない」が最も高いが、単身世帯は他の世帯類型と比較して割合が低い。また、利用している人では「配食」で単身世帯、夫婦のみ世帯が、「見守り、声かけ」で単身世帯の割合が他の世帯類型と比較して高い。

【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況】 [A問8]



【世帯類型別・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況】 [A問8]

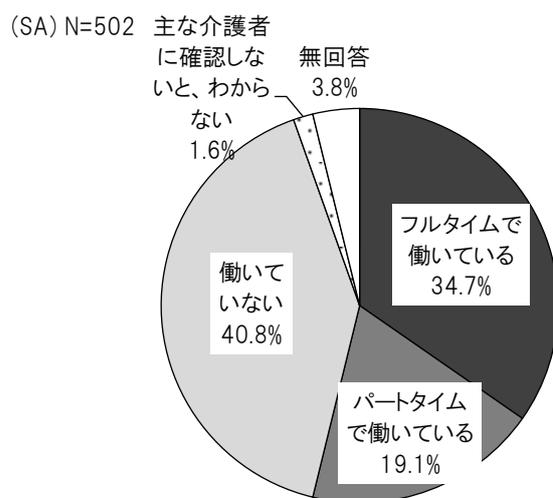


(3) 主な介護者の状況

主な介護者の就労状況では、働いていない方が約4割、働きながら介護している方が半数以上。

主な介護者の就労状況では、「働いていない」が40.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が34.7%、「パートタイムで働いている」が19.1%となっており、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」をあわせた働きながら介護をしている人が半数以上となっている。

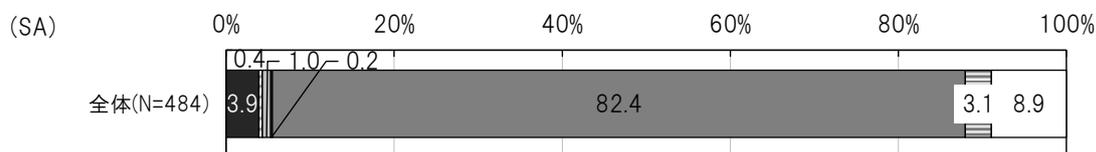
【主な介護者の就労状況】[B問1]



介護のために、主な介護者または介護者以外が仕事を辞めた、転職した割合は5.5%。

介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が82.4%と最も高い。一方、主な介護者または介護者以外が仕事を辞めた、転職した割合は5.5%となっている。

【介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無】[A問7]



- 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
- ▣ 主な介護者が仕事を辞めた(転職含む)
- ▤ 主な介護者が転職した
- ▥ 主な介護者が転職した(転職含む)
- 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- わからない
- 無回答

(4) 在宅生活の継続に向けた支援・サービス提供体制

主な介護者が不安を感じる介護は、要支援1、2では「外出の付き添い、送迎等」、要介護1、2では「認知症状への対応」、要介護3では「夜間の排泄」、要介護4では「入浴・洗身」の割合が高い。

「現在の生活を継続していくに当たって、主な介護者の方が不安を感じる介護」について、全体では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」の割合が高い。

要介護度別では、要支援1、2で「外出の付き添い、送迎等」、要介護1、2で「認知症状への対応」、要介護3で「夜間の排泄」、要介護4で「入浴・洗身」の割合が高い。

【要介護度別・介護者が不安を感じる介護】[B問5]

	全 体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	N=502	N=121	N=157	N=118	N=48	N=33	N=12	N=2
日中の排泄	14.9	4.1	11.5	26.3	18.8	21.2	8.3	-
夜間の排泄	20.1	8.3	17.8	26.3	27.1	36.4	16.7	-
食事の介助(食べる時)	6.0	2.5	5.1	6.8	10.4	12.1	8.3	-
入浴・洗身	20.3	22.3	24.2	15.3	18.8	9.1	33.3	-
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	3.4	2.5	3.2	4.2	8.3	-	-	-
衣服の着脱	3.2	1.7	6.4	3.4	-	-	-	-
屋内の移乗・移動	12.5	14.0	10.8	13.6	18.8	3.0	16.7	-
外出の付き添い、送迎等	26.9	34.7	28.7	28.8	18.8	12.1	-	-
服薬	9.6	8.3	10.2	11.9	6.3	9.1	8.3	-
認知症状への対応	25.7	17.4	19.1	40.7	37.5	18.2	25.0	-
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	5.0	5.0	3.2	6.8	6.3	9.1	-	-
食事の準備(調理等)	11.4	15.7	10.2	11.9	8.3	3.0	16.7	-
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	10.6	15.7	10.8	11.0	6.3	3.0	-	-
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	7.4	7.4	7.6	9.3	2.1	9.1	8.3	-
その他	5.0	3.3	3.2	5.9	8.3	12.1	8.3	-
不安に感じていることは、特にない	8.4	6.6	8.9	5.1	4.2	21.2	16.7	50.0
主な介護者に確認しないと、わからない	9.8	18.2	11.5	5.1	4.2	-	-	-
無回答	5.2	3.3	5.7	1.7	8.3	12.1	16.7	50.0

「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」は、要介護状態を問わず「外出同行」、「移送サービス」が高い傾向。要介護状態別では、要支援1・2、要介護1では「配食」「掃除・洗濯」のニーズが高い。

要介護度別の「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」をみると、要介護度を問わず「外出同行」、「移送サービス」のニーズが高い。

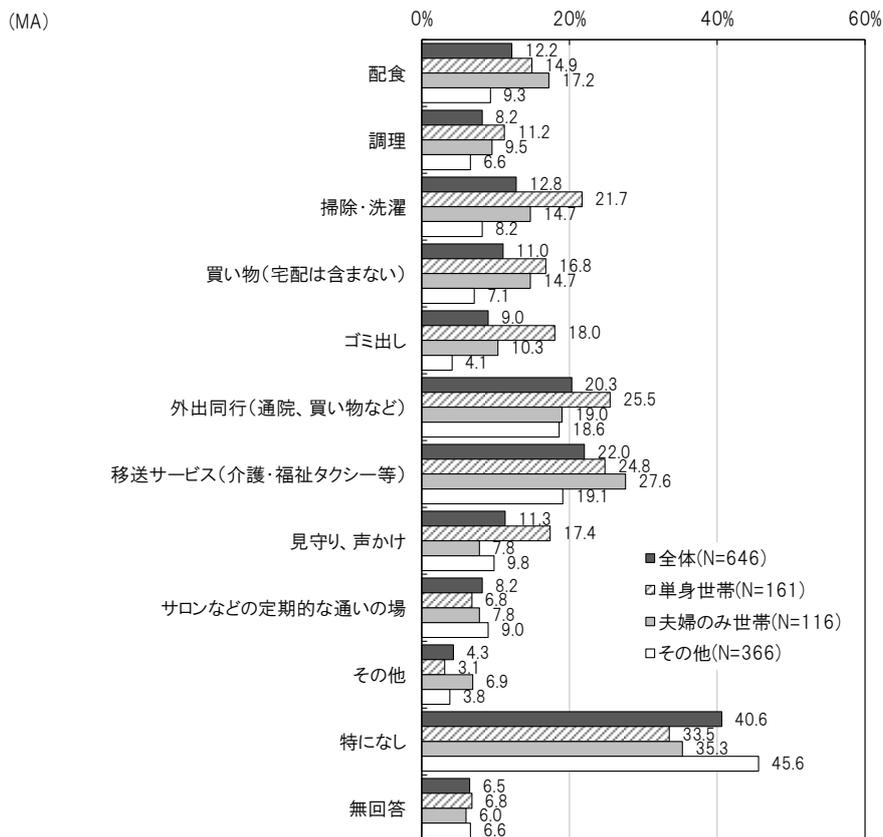
要支援1・2、要介護1では「配食」「掃除・洗濯」のニーズが高くなっている。

世帯類型別にみると、単身世帯では、他の世帯構成に比べ、「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」の割合が高い。

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】[A問9]

	全体 N=646	要支援1 N=156	要支援2 N=181	要介護1 N=154	要介護2 N=66	要介護3 N=50	要介護4 N=21	要介護5 N=5
配食	12.2	17.3	14.9	11.7	7.6	4.0	-	-
調理	8.2	6.4	9.9	8.4	6.1	6.0	14.3	-
掃除・洗濯	12.8	14.7	15.5	11.7	10.6	4.0	14.3	-
買い物(宅配は含まない)	11.0	13.5	11.6	10.4	9.1	4.0	14.3	-
ゴミ出し	9.0	12.2	8.8	9.1	6.1	2.0	14.3	-
外出同行(通院、買い物など)	20.3	21.2	23.2	19.5	13.6	16.0	23.8	20.0
移送サービス(介護・福祉タクシー等)	22.0	25.6	22.7	20.8	19.7	16.0	19.0	20.0
見守り、声かけ	11.3	13.5	11.0	12.3	9.1	8.0	9.5	-
サロンなどの定期的な通いの場	8.2	15.4	9.4	4.5	1.5	4.0	4.8	-
その他	4.3	3.8	3.9	3.2	4.5	4.0	9.5	20.0
特になし	40.6	28.8	37.6	44.2	51.5	62.0	52.4	40.0
無回答	6.5	2.6	4.4	9.7	7.6	14.0	4.8	20.0

【世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】[A問9]

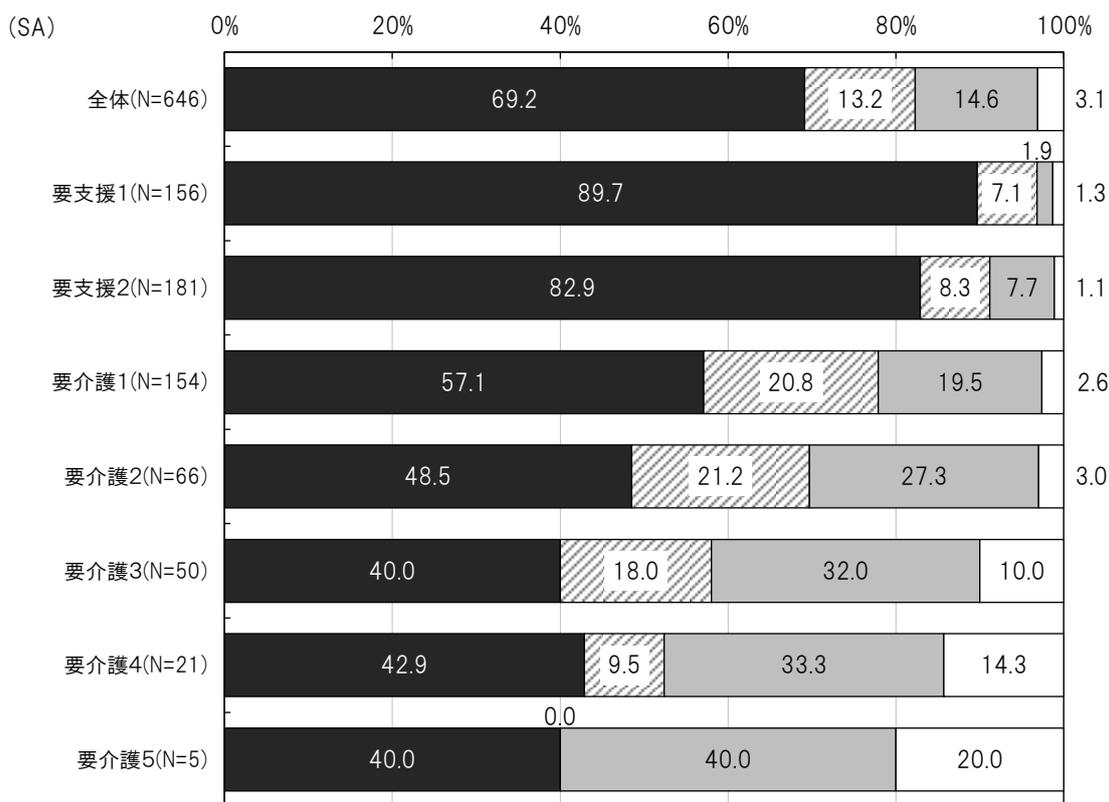


要支援では入所・入居は検討していないが8割以上。要介護2以上ではすでに入所・入居申し込みをしているが2割以上。単身世帯では入所・入居申し込みをしているが約2割。

施設等への入所・入居の検討状況は、要介護度別では、要支援1、要支援2で「入所・入居は検討していない」が8割以上を占めている。一方、要介護2以上で「すでに入所・入居申し込みをしている」が2割以上となっている。

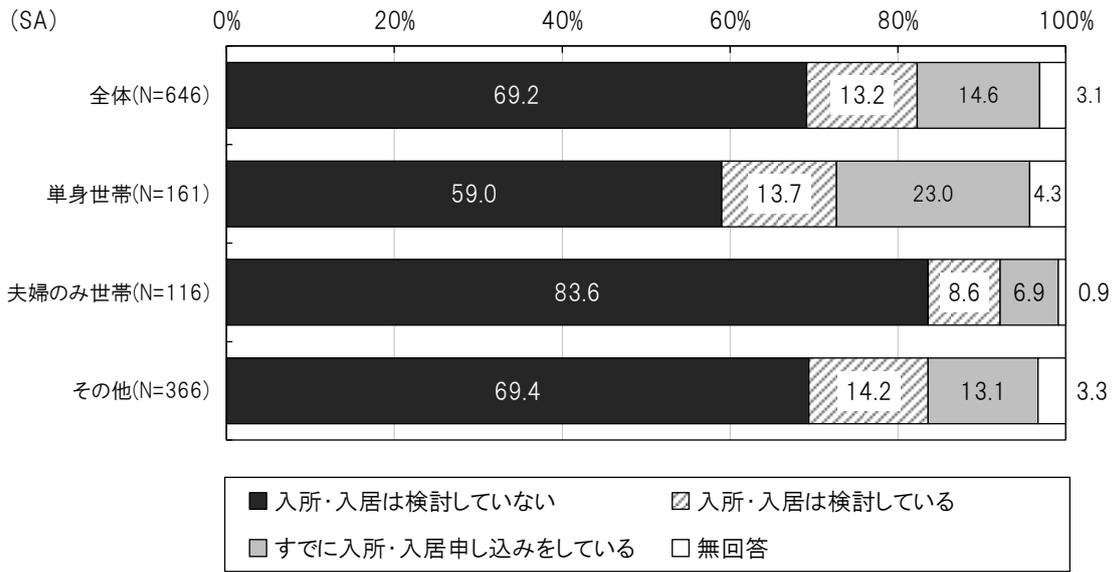
世帯類型別にみると、どの世帯類型でも「入所・入居は検討していない」の割合が最も高くなっている。単身世帯では、「すでに入所・入居申し込みをしている」が23.0%と、他の世帯類型と比較して高い。

【要介護度別・施設等への入所・入居の検討状況】 [A問10]



■ 入所・入居は検討していない ▨ 入所・入居は検討している
 ▩ すでに入所・入居申し込みをしている □ 無回答

【世帯類型別・施設等への入所・入居の検討状況】 [A問 10]



入所・入居を希望する施設は、特別養護老人ホーム、有料老人ホームが約4割。

入所・入居を希望する施設は、「特別養護老人ホーム」が38.8%と最も高く、次いで「有料老人ホーム」が37.6%、「老人保健施設」が16.5%となっている。

【入所・入居を希望する施設】 [A問 10-1]

